

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北海道)		*	*	*
		その他専門店 [医薬品]（経 営者）	お客様の様子	・きちんとした健康情報を教えてもらえる媒体として、街の医薬品店が認められつつある。正しい健康情報に耳を傾けてくれる真摯な客も増えている。有り難いと同時に責任を感じている。
		美容室（経 営者）	来客数の動き	・この3か月間、来客数はほとんど変わっていない。ただ、今後については心配がある。
		商店街（代 表者）	お客様の様子	・緊急事態宣言により、政府から行動を自粛するような方針が発表されたため、客の行動にブレーキが掛かっている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、食品などの必需品以外の需要が極端に低下している。
		スーパー（企 画 担当）	販売量の動き	・食品スーパーでは巣籠り消費の影響で客単価が大きく上昇しているが、3密の回避を含めて、客の買物の風景もどこか緊張感が漂っており、ただならぬ様子がみられる。
		スーパー（役 員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響での自粛などにより、今まで経験したことのない環境になっている。家庭での内食に移行していることで、スーパーマーケット業界においては買上点数が増加するなど、現状の数値は良くなっているが、決して景気が良いといえない。
		コンビニ（エ リ ア 担当）	来客数の動き	・食料品を取り扱っているため、客単価自体は伸びているが、新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。緊急事態宣言があったことで、日を追うごとにその影響が大きくなっており、景気は悪くなっている。
		自動車備品販 売店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により自粛の動きが強まり、来客数は前年比83%と大幅にダウンした。
	×	商店街（代 表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言に伴う外出自粛要請により、商店街は今まで体験したことがないほど、人出のない状況となっている。各店の売上もがた落ちで、売上が半分以下になっているところもみられる。
	×	商店街（代 表者）	来客数の動き	・区域内の飲食店、物販店のほとんどがゴールデンウィーク明けまで休業している状況であり、日中、夜間を通して来客数が激減している。日常生活に必要な商材を買い求める客もほとんどみられない。
	×	商店街（代 表者）	それ以外	・北海道では他地域より1か月以上も早く、北海道知事による緊急事態宣言が出されたことで、商業への影響が長期化している。こうしたなか、全国一斉の緊急事態宣言により、具体的な業種に休業要請が出されたことで、休業する店舗も多くみられるが、収入の見込みがない上、補償額も小さいことから、今後の存続が危ぶまれる。特に4月末の支払日に支払をできない店舗が多く出てくることになり、ゴールデンウィーク明けには間違いなく大量倒産が生じることになる。また、商店街では会員の負担を減らすため、既に会費の減額を行っているが、集金の見通しが立たない店舗もみられ、商店街の存続も危うくなっている。秋には、商店街も店舗もなくなるところが多発することになる。
	×	商店街（代 表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により壊滅的な状況となっている。
	×	一般小売店[土 産]（経 営者）	来客数の動き	・当社では観光地に立地している店が多いが、コンプ小売専門店であることから、固定客が来店することを考慮して、5店舗のうち1店舗だけを開けている。売上は前年比11.8%、一昨年比11.6%となっている。
	×	一般小売店[土 産]（経 営者）	来客数の動き	・立地している空港では乗降客が前年から約8割の減少となっている。日によっては9割減ではないかと体感する日もある。緊急事態宣言が発令されて以降、特に減少が顕著になっている。人の移動がなかなかできない、してはいけないということなので、この状況はしばらく続く。

×	一般小売店 〔酒〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による営業自粛要請のため、顧客のほぼ80%が休業しており、売上を全く見込めない状況となっている。売上は前年比40%まで落ち込んでいる。また、利益の大きな柱である不動産賃貸部門では、この状況を踏まえて全テナントに対して30%の値引きを行っているが、値引額は2か月分まで250万円にも及んでおり、新型コロナウイルスの影響はしばらく続くことになる。
×	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店が非常に少なくなっている。また、4月18日以降は、緊急事態宣言に伴う営業自粛で休業状態が続いている。
×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言以降、一部フロアを除き店舗を休業しているため、売上が激減している。
×	百貨店（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、営業を自粛している。
×	百貨店（営業販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が大幅に減少している。特に婦人服、紳士服などの衣料品の動きが悪く、それに付随する雑貨も苦戦している。動きがみられるのは、食品、家庭用品などのアイテムに限定される。
×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により、モールが営業中止となり、来客数が半減している。外出自粛による集客減はもちろんのこと、購買行動も止まっている。
×	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・当社はスーパーであり、内食需要の高まりにより、売上は前年比110%程度となっているが、景気としては悪い状況にある。
×	スーパー（役員）	単価の動き	・新型コロナウイルスの巣籠り需要により、食品の売上が伸びているが、単価の低い商材の売上が増える傾向がみられることから、客の金がなくなってきたことがうかがえる。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価が上がってきているものの、客の来店回数が減ってきている。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、観光目的の客が減少している。また、漁業や酪農にも影響が及んでおり、地元客の消費もやや落ち込んでいる。
×	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、外販が大きく減少している。店内分の売上は確保できているが、トータルでは減少している。外販分については、ゴールデンウィーク期間中のみならず、夏場になっても回復が見込めない。
×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。緊急事態宣言以降、20時から翌朝にかけての来客数が激減している。
×	衣料品専門店（店長）	それ以外	・来客数、売上など、全ての面で良い材料がない。人件費は削られ、日々の雑務の負担が多くなり、家賃、水道光熱費のみが大きいのかかっている。店舗前の幹線道路をみても、日を追うごとに車が少なくなっており、トラック以外見掛けないようになっている。
×	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・除菌関連の空気清浄機や加湿器などの動きはあるが、新型コロナウイルスの影響で営業活動や集客イベントを自粛せざるを得ない状況にあり、売上が大幅に減少している。
×	家電量販店（店員）	来客数の動き	・午前中は用事のある人の来店や問合せで忙しいが、午後になると客足が途絶える。
×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの流行による緊急事態宣言により来客数が激減している。積極的な営業活動もできず、社員の出勤を半数に減らしていることもあり、最悪の状態が続いている。
×	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・景気は悪い。新型コロナウイルスが早く収束してほしい。
×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客足が鈍っている。自粛ムードが漂っていることもあり、景気はかなり悪い方向にある。
×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、フリーの来店客が減少している。顧客からは先行きが不安との声も聞かれ、買い控えの傾向がみられる。

×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・車両整備に関しては1～2割程度の落ち込み、車両販売に関しては5～6割の落ち込みとなっている。
×	その他専門店 [ガソリンスタンド](経営者)	販売量の動き	・販売量が激減している。
×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・4月初めは営業時間を短縮し、ランチのみの営業としていたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、下旬から臨時休業している。売上は前年比で90%の減少となっている。
×	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・緊急事態宣言の影響もあり、4月の売上は現時点の状況から前年比30%ほどとなりそうだ。北海道知事による緊急事態宣言が解除になった後は、一時的にランチの回復傾向もみられたが、全国一斉の緊急事態宣言で再び減少することになった。歓送迎会などの団体予約はほぼゼロである。また、SNSで外食の情報発信をしていた客が、このところ自宅料理を投稿しており、意気消沈している。北海道の景気回復は当分見込めないが、店の存続は必須だと考えており、給付金や助成金の活用、営業時間の短縮や休業などで、どうにか店を存続させたい。一方、周囲の個人経営の店舗では、4月の売上が悪いものの、前年比で何%の減少か不明確な店舗もみられる。また、営業していたとしても、利益の少ないランチやテイクアウトに依存せざるを得ず、一時閉店するか悩む店もみられる。
×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・全国に緊急事態宣言が出されたことで、戻りつつあった客足が遠のいてしまった。
×	スナック(経営者)	来客数の動き	・4月11日から休業している。休業が6月頃まで続くことになれば、廃業しなければならないのではと考えている。
×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・休業しており、ほとんど売上がない。景気の良しあしというよりも、今、生きることができるか否かの瀬戸際にある。
×	観光型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・宿泊、レストラン、宴会、全ての部門で前年から9割の減少となっている。政府による緊急事態宣言以降、先の予約もキャンセルが相次いでいる。
×	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための北海道知事による緊急事態宣言以降、航空機の減便が増加している。3月の地元空港利用者は前年の33%となっており、約4万5000人の減少となっている。空港テナントはもとより、観光地の飲食店や土産品店、宿泊業にも大きな影響が生じている。さらに、終息がみえないなかで、事業者が資金繰りに苦労している状況も継続している。
×	旅行代理店(従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、景気は悪い。
×	旅行代理店(従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は4月も収まらず、むしろ一層悪化している。4～6月の団体ツアーの取扱は一切ない状態であり、10月の案件も既に取消しが始まっている。仕事がないため、休業日を追加設定している状況にある。
×	旅行代理店(従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発令されたなか、旅行を申し込む人はいない。既に予約が入っていた旅行、出張もほぼ取消しとなっている。
×	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが制限されているため、実際の業務、契約数が大幅に減少している。3か月前にはこのような状況を予測できなかったため、準備も追いついていない。
×	タクシー運転手	販売量の動き	・4月のタクシーの売上は、前年比で60%のマイナスとなった。3月も50%のマイナスであったが、緊急事態宣言が出されてからは、日に日に人の動きがなくなっている。特に週末はデパートなど、ほとんどの店が閉店しているため、街なかの人出は全くない。夜間も繁華街ではほとんど人が出歩いておらず、タクシーの利用は激減している。
×	タクシー運転手	販売量の動き	・売上は下降の一途をたどっている。致命的な数値まで落ち込んでいる。

		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、貸切ハイヤーのオーダーはほぼゼロとなっている。宿泊施設やホテル関係では臨時休業が相次ぎ、そこからのオーダーも予約も途絶えている。普通タクシーの売上も壊滅的な大幅ダウンとなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客の利用が極端に減っており、経営維持に向けて危機的な状況となっている。だからとした対策を早めてもらいたい。
		タクシー運転手	来客数の動き	・とにかく利用客、観光客などが皆無で厳しい状態にある。今のところは、この先のめども立たない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が発令され、3密状態の防止を徹底していることにより、人の往来が全くなり、需要が急減している。この状況がいつまで続くのか不安でならない。
		通信会社（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、営業時間の短縮、受付内容の制限を行わざるを得ない状況にある。客への提案や集客活動が全くできず、収益を上げられる状況にない。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・4月17日まで、どうにか通常営業を続けていたが、新型コロナウイルスの影響で、利用乗降客は例年と比べて約95%の減少という前代未聞の状況となっていた。4月18日以降は、緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受けて、臨時休業しているため、営業活動はほぼないに等しく、嵐が通り過ぎるのをひたすら待っている状態である。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を受けて、営業時間を短縮しているほか、客同士の間隔を空けるため、鏡面を飛び石で使用しており、予約数を制限している。このため、約30%の売上減が生じている。家賃や人件費などの固定費を払うのが精一杯であり、役員報酬は厳しい状況になっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの休業要請業種ではないが、密集状態にならないように、店舗内には一定以上の人数を入れないようにしている。客も密集状態にならないか確認する人が増えている。このため、来客数が減っている状況にある。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で自粛が相次いでいることから景気は悪い。補償をもらうことができない事業所は倒産することになる。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、輸送量が激減している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・一部のホームセンターなどの販売は順調なようだが、新型コロナウイルスの影響で、スポーツセンター、デパートなどが休業しているほか、モデルハウスなどの来場も激減している。
		住宅販売会社（経営者）	それ以外	・消費税増税に続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う営業自粛から、経済活動が全体的に大きく停滞している。その影響で、分譲マンション市場の動きもかなり悪くなってきている。
企業動向関連		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・4月の販売量は前年比プラス11%だったが、3か月前の1月の販売量は前年比マイナス8%だったため、景気は良くなっている。
(北海道)		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・前年度からの繰越し工事と4月着工の新規受注工事、新年度前半の工事量が確保できている状況に変わりはない。一方、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の現場作業所では工事休止の動きが出てきている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・建設現場では施工が一時休止になっているところもみられる。ゴールデンウィーク明けから施工が再スタート、又は新規スタートする現場が増加してくるかも不透明である。

	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北海道～本州間のトレーラー輸送は、前年から5%程度の減少で収まっている。しかし、生乳の輸送量が1割以上減っているほか、スポット需要を含めた一般雑貨もオフアワーが少ない。新型コロナウイルスの影響は、今のところは限定的だが、物量が減ることになる5月以降の状況をしっかりと見極め、分析することが求められている。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・営業活動を停止しているため、新規案件の獲得が全く進んでいない。
	司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けての政府や自治体の要請により、取引先の不動産業や建設業では、休業や交代勤務、テレワークなどを行っている。取引の延期や中止も増えており、今後の景気は明らかに悪化することになる。
	コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が少なからず出ている。特に旅行業は非常に厳しい状況にあり、今後、修学旅行がなくなると本当にまずいとの声が上がっている。
	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	それ以外	・現在、当社の受注は順調であり、公共工事は順調に消化しているものの、新型コロナウイルスの影響により、今後の民間工事の落ち込みが大きくなるのが懸念される。経済的な影響は長引くことになる。
×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・元々、前年から1割ほど落ちている受注量が、更に1割ほど落ち込んできている。
×	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・飲食店や旅行業とは異なり、家具産業における緊急事態宣言の影響は比較的穏やかであったが、ここに来て30%以上の受注減が続いている。生活を維持する活動以外、自粛モードが継続していることで、影響が甚大になってきており、経済規模が世界的に縮小していることを実感している。
×	出版・印刷・関連産業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
×	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛要請による影響が出てきている。
×	建設業（従業員）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスによる影響が建設業界まで波及している。クラスターが発生した施設周辺の工事現場では、感染防止対策を徹底しても、近隣住民の抵抗により工事を中断せざるを得ない状況に陥っている。
×	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マスクや保存食品などでは特需がみられるが、これを除くとこれまで堅調であった雇用を含めて総崩れの様相である。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、道内景気は3か月前に比べ急速に悪くなっている。
×	司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための外出自粛の影響が大きく、営業活動が停滞している。不要ではないが不急の経済活動が全体的に止まっていることから、景気が良くなることは考えられない。
×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、元請での営業的な動きができておらず、新規の案件がほとんど受注できていない。
×	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、設備投資意欲の減退がみられる。特に観光関連の業種、飲食業の内容が悪化している。
×	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・事前に受注していた物件があったことなどで、どうにか売上を確保できているが、需要と供給のバランスが取れていない。また、必要な商材が納入されない状況もみられることから、先行きに対する不安も残る。
雇用関連	-	-	-
(北海道)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月の有効求人倍率は1.13倍であり、前年を0.01ポイント上回り、引き続き高い水準で推移している。
	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・飲食店、特に中心市街地の店舗の客入りが悪い。ビルごと休業するケースも多く、飲食店関連の求人件数は前年から4割の減少となっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月の有効求人倍率は1.06倍となり前年を0.07ポイント下回り、3か月連続で前年を下回った。

	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・周りの企業から休業や解雇といった情報が入っていることから、景気は良くない。
×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により企業の営業活動が低迷しており、各企業の業績が悪化している。こうしたなか、イベントの中止、食品以外の販売業の業績悪化、売上減少に伴う事務量の減少などにより、人材派遣事業では派遣稼働日の削減や多くのキャンセルが発生している。また、中途採用市場においては、新型コロナウイルスの流行前に業績拡大を目指した増員の求人が取り下げられるなど、全体で約3割の求人が減少している。ただ、欠員募集の求人は取り下げられておらず、人材派遣ほどの落ち込みとはなっていない。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、多くの業界が大打撃を受けている。飲食業や観光地の求人はほぼ止まっている。また、宿泊施設や大型商業施設では、休業がしばらく続いている。ただ、スーパー、コンビニは外出自粛の影響で中食が堅調なことから、求人募集を変わずに行っている。また、外出自粛による物流や通販の増加により運送業の求人も堅調な動きとなっている。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けての緊急事態宣言に伴う、休業要請、自粛ムードによって、特に市内中心部の飲食店、小売店、サービス業、それに付随する卸売業などが休業を余儀なくされており、求人ニーズそのものがなくなっている。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、ほとんどの事業所において、来客数、売上に多大なマイナスの影響が出ている。営業時間短縮や臨時休業に伴う人員削減、シフトカットの動きが前月よりも強まっており、ダブルワーク、掛け持ち希望者が大幅に増えている。また、遠方への移動を自粛するムードのためか、来春採用予定の新卒市場では、地元就職希望者が増えているようだ。
×	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・道内の私立大学では授業を含めて教育活動が停止しており、就職活動も先の見えない状況となっている。このような状況下では、社会活動も、経済活動も一層の悪化は避けられない。